

米国防総省がアジャイル変革に着手

米国防総省は、2010年国防衛調達法案に記載されているように、アジャイルテクニックを使用しなければならない。法案原文：<https://www.congress.gov/bill/111th-congress/house-bill/2647/text>

以下は、その要件と導入計画について概説した追加資料である。

1. 2010年国防調達法案からの抜粋：

第804項：情報技術システムの新しい調達プロセスの導入

(a) 求められる新たな調達プロセス—国防長官は、情報技術システムに関する新たな調達プロセスを策定し、導入しなければならない。本項に従って開発・導入される調達プロセスは、国防長官が適切と判断する範囲において、以下のとおりとする。

(1) 2009年3月の「情報技術調達のための国防総省の政策と手続きに関する国防科学委員会タスクフォース」報告書第6章の勧告を基にすること。

(2) 以下を含むように設計されていること。

(A) 利用者の早期かつ継続的な関与

(B) 複数の、迅速に実行される能力のインクリメントまたはリリース

(C) 進化的アプローチをサポートするための、早期の連続したプロトタイピング

(D) モジュール式のオープンシステムアプローチ

2. [米国デジタルサービス・プレイブック](https://playbook.cio.gov)

(タイトルをクリックして表示するか、次のURLをクリック：<https://playbook.cio.gov>)

「こうしたプロジェクトの成功率を高めるために、米国政府は新しいアプローチを必要としています。私たちは、民間と政府の成功事例から抜粋した13の重要な『遊び』をまとめたプレイブックを作成しました。このプレイブックに従えば、政府は効果的なデジタルサービスを構築することができるでしょう。」

3. 国防総省 CIO の [IT 近代化 10 ヶ条計画](http://dodcio.defense.gov)

(タイトルをクリックしてダウンロードするか、<http://dodcio.defense.gov> でスライドを表示)

「アジャイルで安全、効率的かつ効果的な国防総省の IT を可能にする」

国防総省の完全なアジャイル変革のプロセスはゆっくりとしたペースではあるが、一つの方向に向かって着実に進んでいる。

※日本語は公式訳ではなく原文の翻訳である